

平成24年度 谷原中学校学校評価まとめ

<保護者・生徒の皆様、ご協力ありがとうございました。>

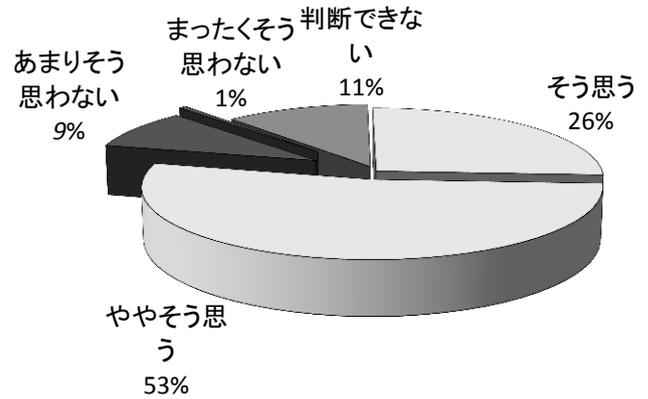
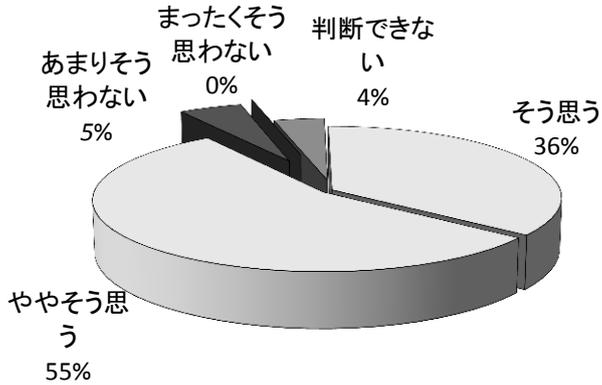
今年度学校評価アンケートの結果報告をいたします。アンケート結果とお寄せいただいたご意見につきましては校内で検討し、来年度教育課程に反映させようと考えています。

保護者アンケート

1. 学校について

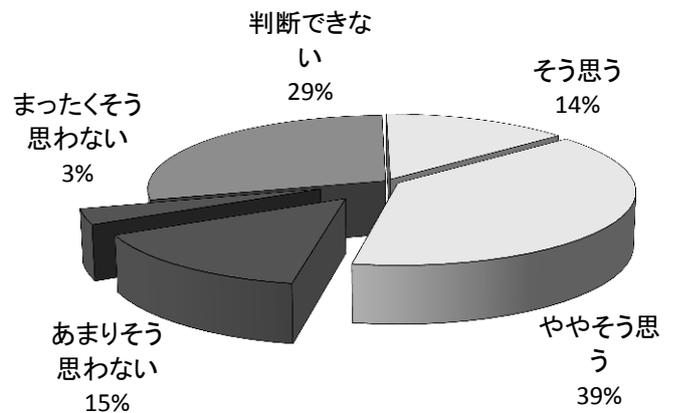
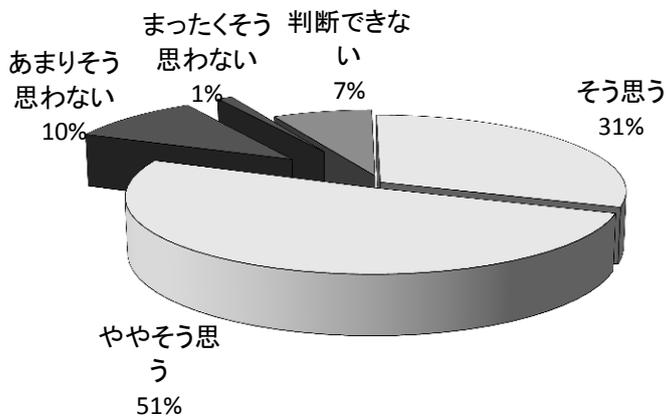
① 学校は、学校だより、学年だより等を通して教育方針や教育内容をわかりやすく伝えています。

② 学校は、様々な課題や問題に力を合わせて取り組んでいます。



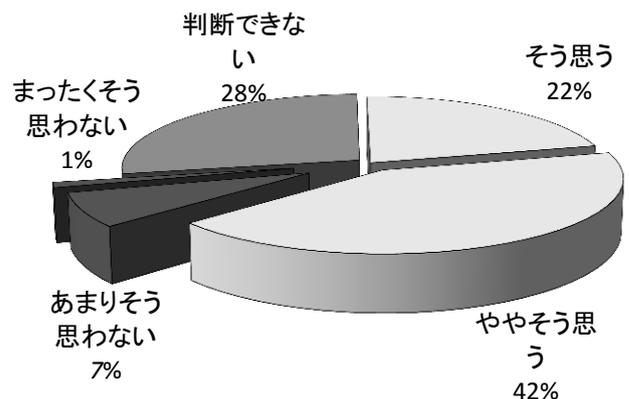
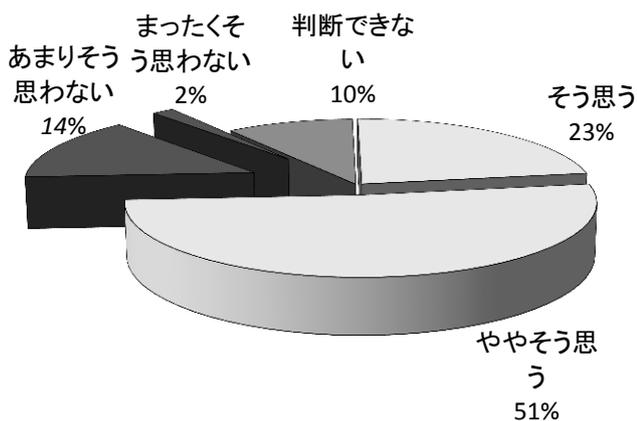
③ 学校は、生徒のために意欲的に教育活動に取り組んでいます。

④ 学校は、いじめや不登校などに、適切に対応しています。

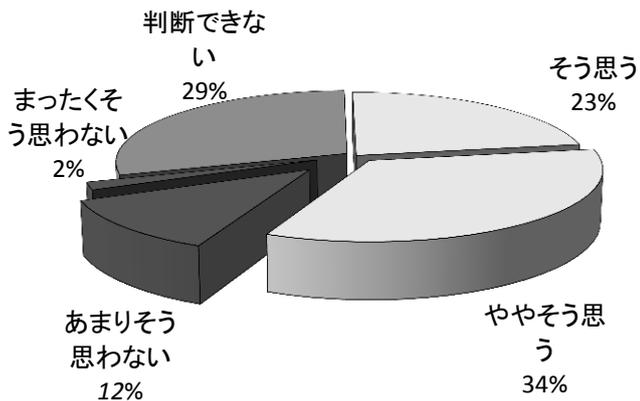


⑤ 学校は、伝統的な行事や特色ある教育活動に取り組んでいます。

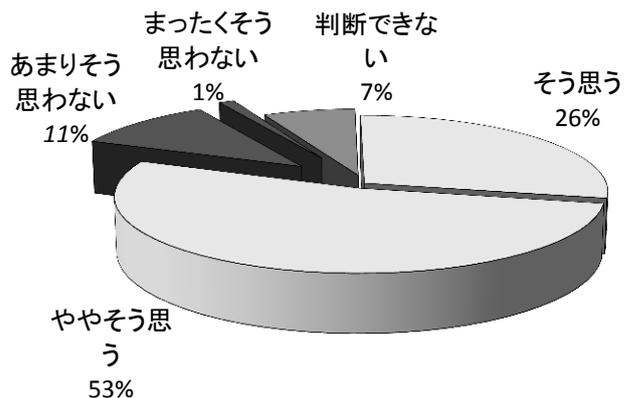
⑥ 学校は、校舎内外の施設・設備の安全管理を適切に行っています。



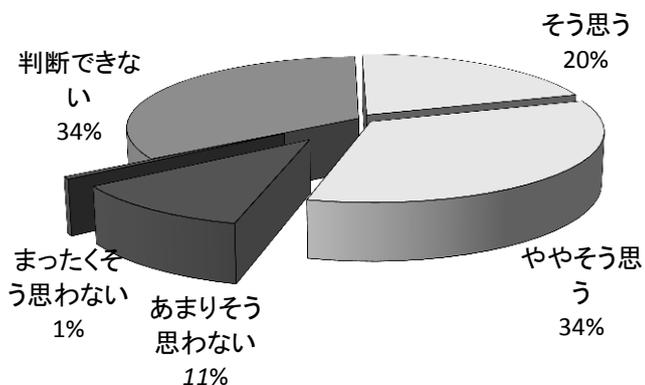
⑦ 学校は、図書室、コンピュータ室などの施設・設備を活用しています。



⑧ 学校は、教室や廊下、特別教室などの清掃、整理・整頓など環境整備が行き届いています。

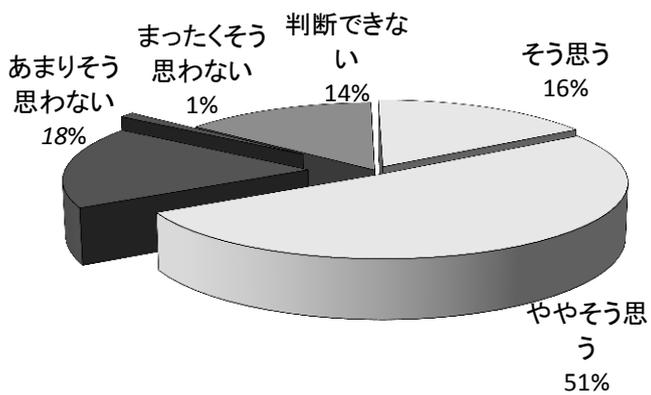


⑨ 学校は、教職員が協力して組織的に不審者対策を行う体制ができています。

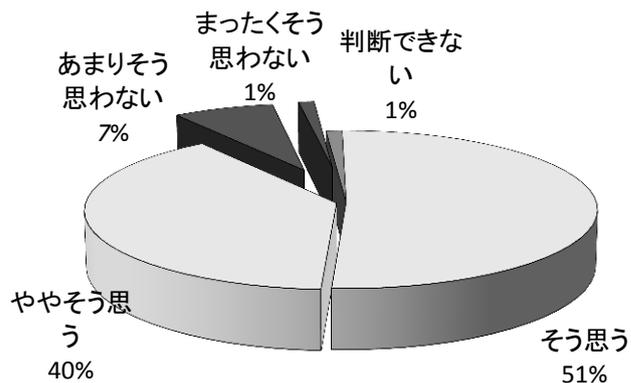


2:学校の指導について

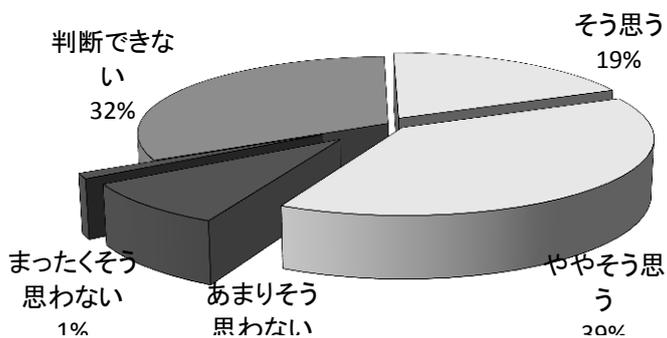
① 学校は授業をわかりやすく教えています。



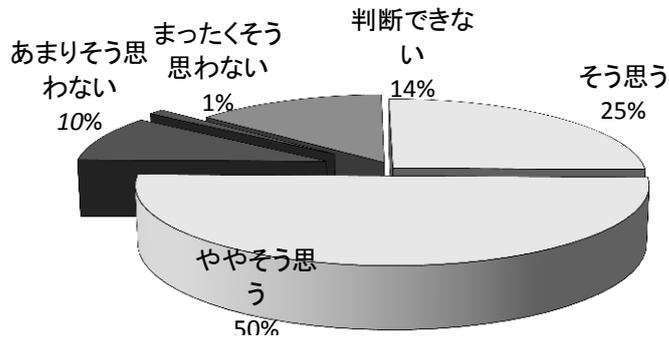
② 学校は、通知表以外(夏休み前の面談等)で生徒の学習状況がわかるように保護者に伝えたり、よいところを認める評価をしています。



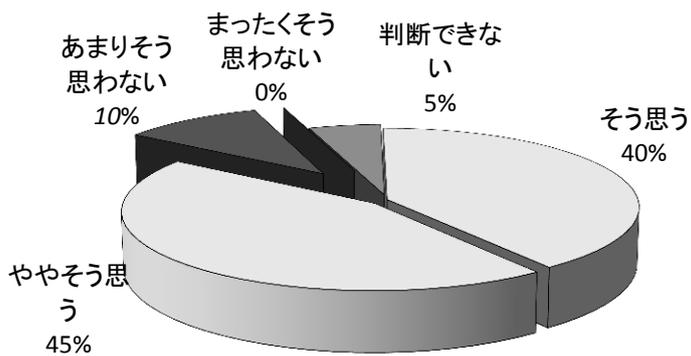
③ 学校は、道徳の時間を大切に、道徳の指導に力を入れています。



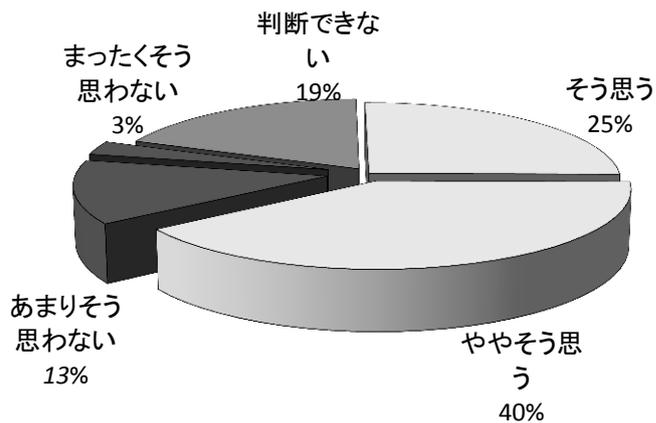
④ 学校は、心やからだの健康、食育についての関心を高めるように指導しています。



⑤ 学校は、挨拶やきまりを守ることなど、集団生活をする上での基本的な生活習慣が身につくよう指導しています。

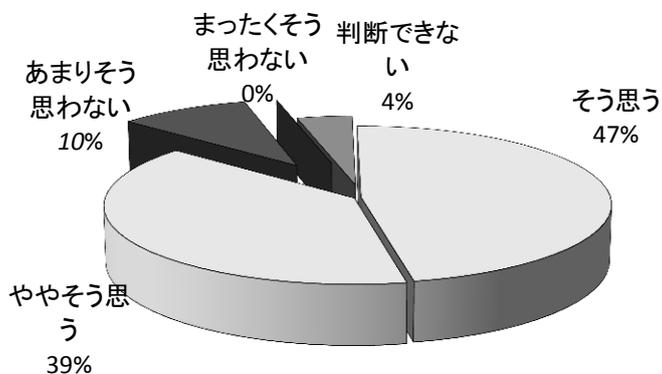


⑥ 学校は、子どもに将来の生き方について考えさせ、望ましい勤労観や職業観を育てる進路指導を行っています

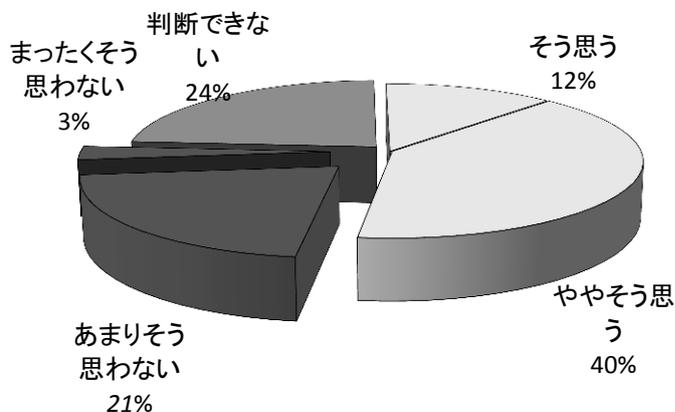


3:生徒の様子について

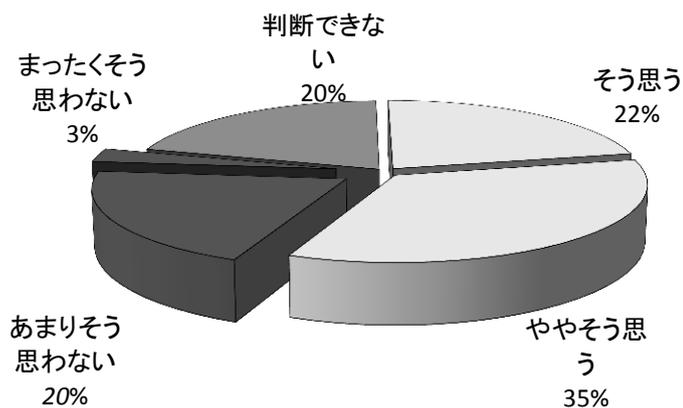
① 学校行事では、生徒が前面に出て生き生きとした活動をしています。



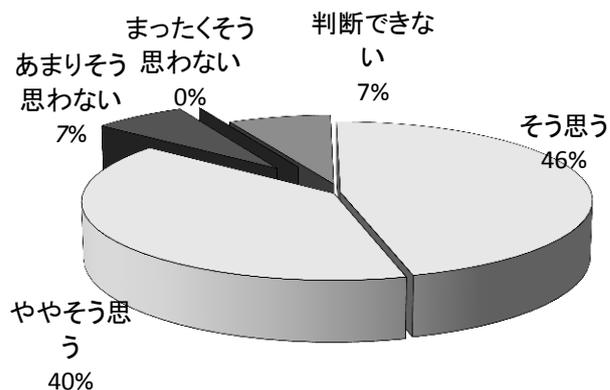
② 生徒は、いじめや仲間はずれ等がなく、相手の立場を考えて互いに協力しあう関係がありま



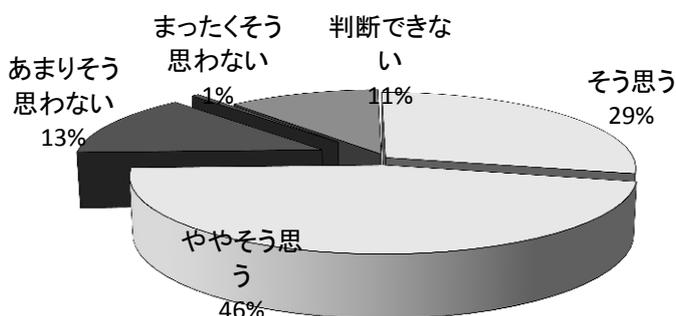
③ 生徒が教員に考えや意見を言ったり、悩みなどを相談したりすることができるような信頼関係があります。



④ 生徒は部活動に意欲的に取り組んでいます。

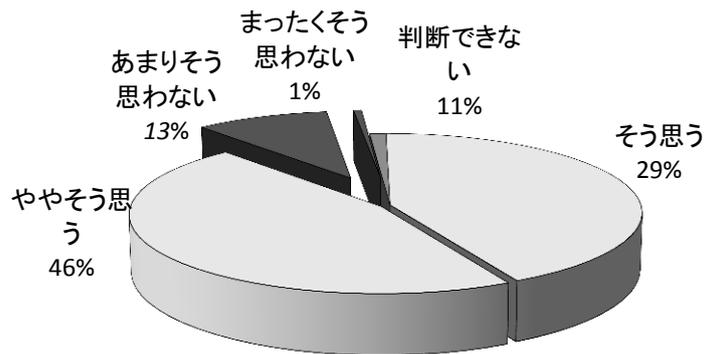


⑤ 生徒は充実した学校生活を過ごし、成就感や達成感を得ています。

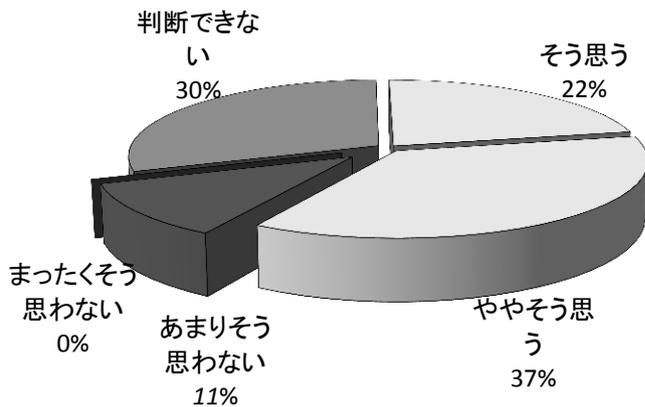


4:地域や保護者との関係について

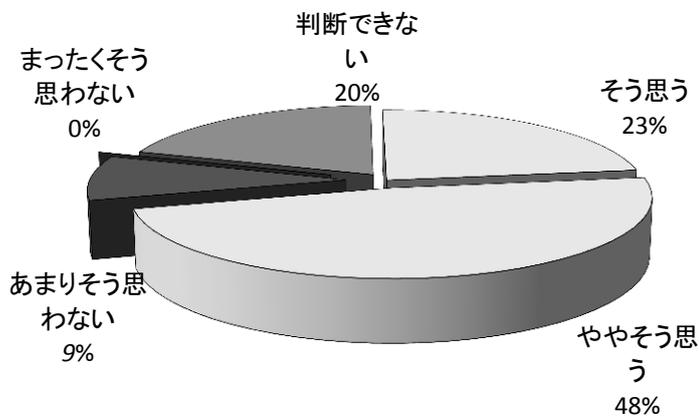
① 学校は、家庭との連絡等、意思の疎通を図るために、家庭訪問や面談を行い、保護者がいつでも相談できるようになっています。



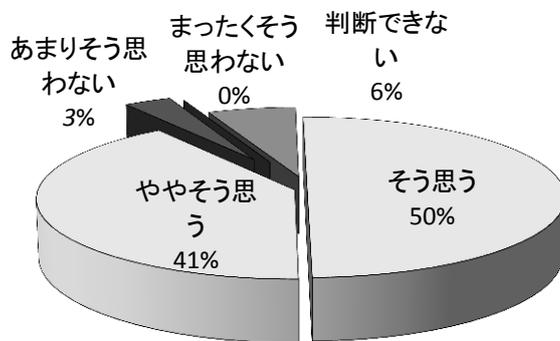
② 学校は、地域の活動に協力的であり、また必要に応じて地域の意見や要望を取り入れる体制ができています。



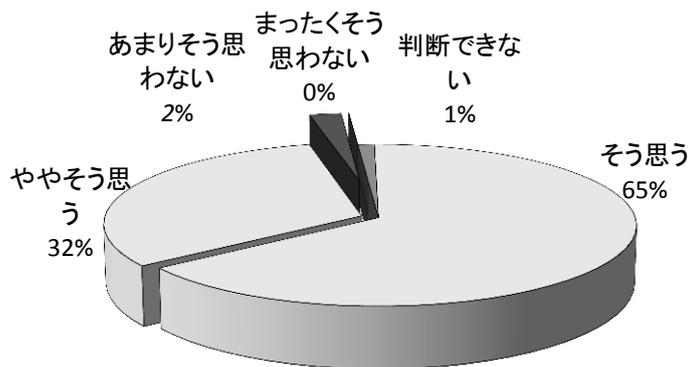
③ 学校は清掃活動など地域におけるボランティア活動によく取り組んでいます。



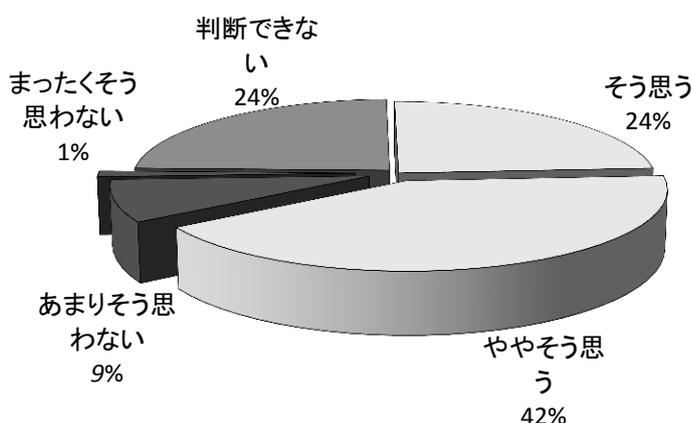
④ 学校は、地域の小学校との連携を図るために出前授業や部活動体験などを行い、学校を公開するために努力をしています。



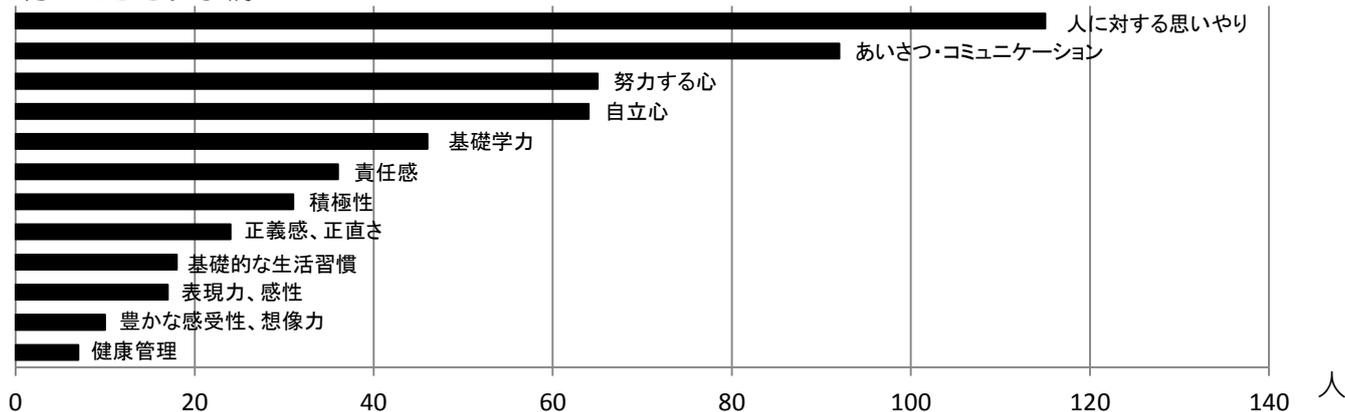
⑤ 学校は、保護者会や授業参観など、学校を公開するための努力をしています。



⑥ 学校は生徒に対してあたたかく見守り、困った時によく相談に乗っています。

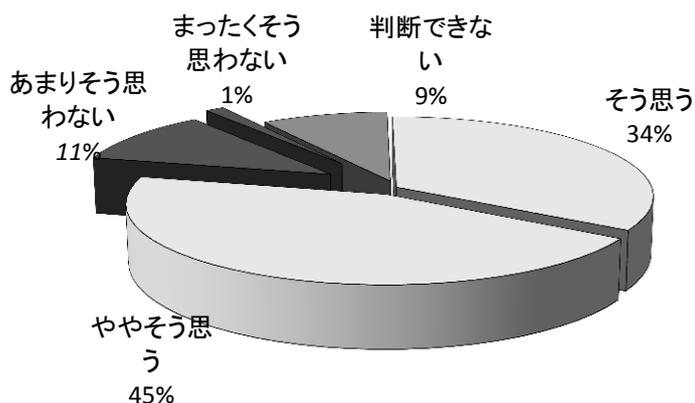


4:身に付けさせたい事柄

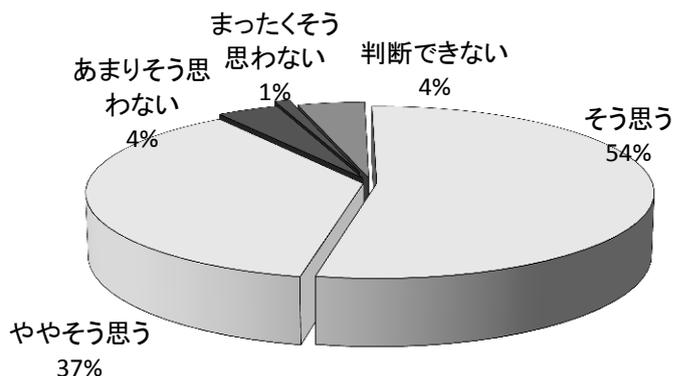


生徒アンケート
1:学校について

① 学校(先生)は、学校だより、学年だより等を通して教育方針や教育内容をわかりやすく伝えています。

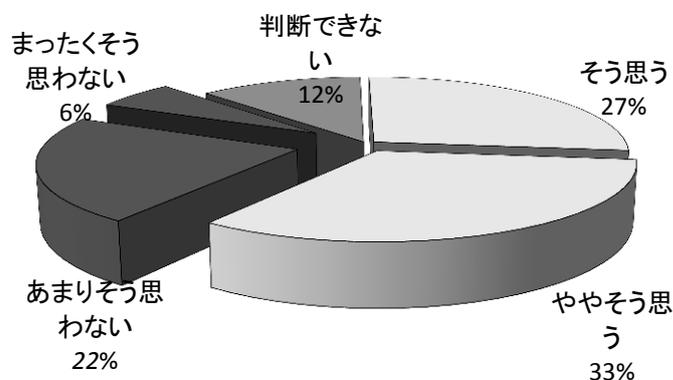
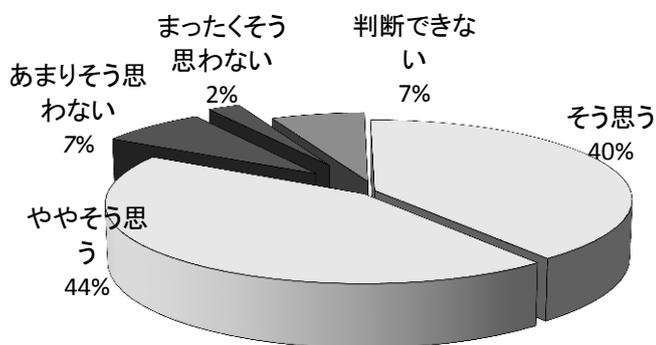


② 学校(先生)は、協力して行事や生活指導などを行っています。



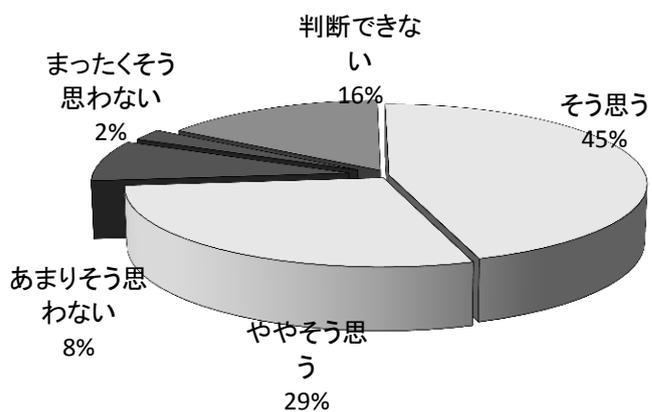
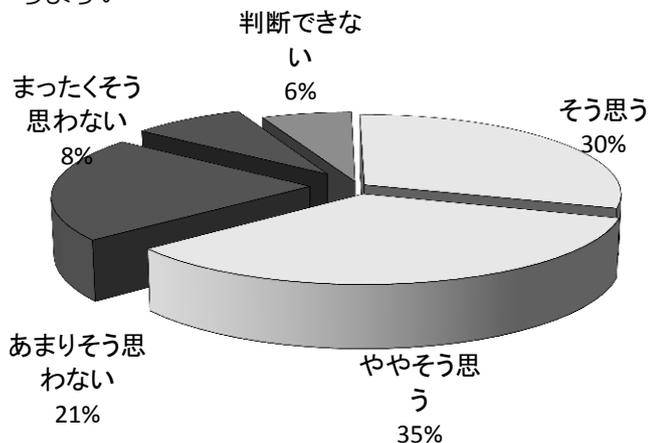
③ 学校(先生)は、生徒(あなたたち)にとって良いと思うことをに進んで取り組んでいます。

④ 学校(先生)は、いじめや問題が起きないように、いつも気を配っています。



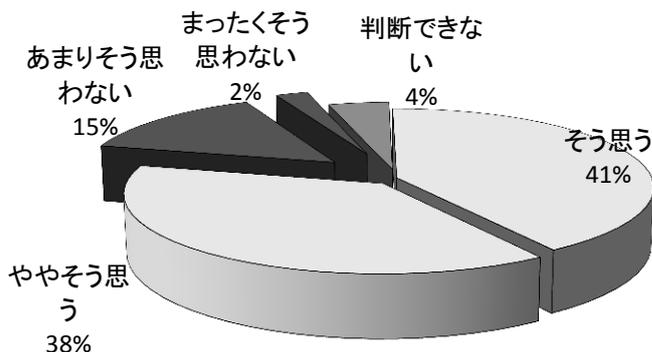
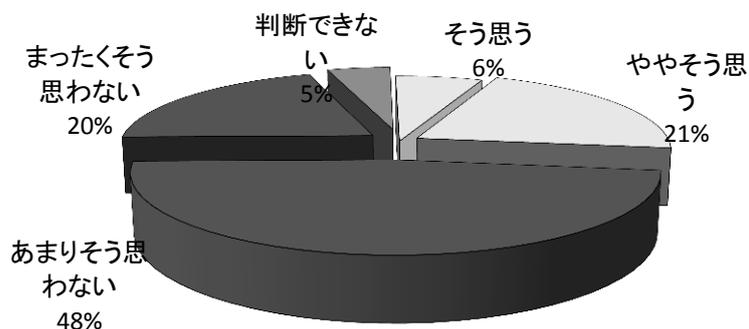
⑤ 学校には、自慢できる行事や活動などがあります。

⑥ 学校(先生)は、ガラスが割れたり、どこかがこわれたりしたときなど、すぐに対応しています。

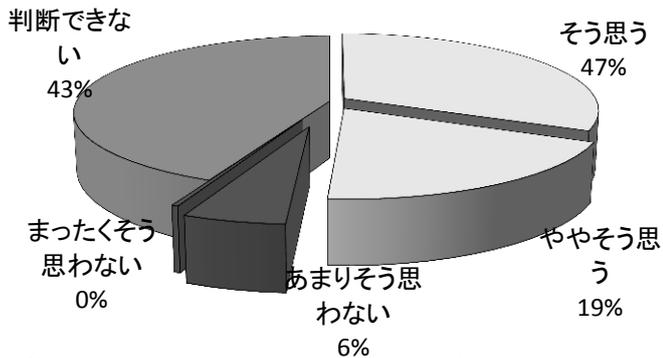


⑦ 学校(先生)は、図書室、コンピュータ室などを使った授業をよく行います。

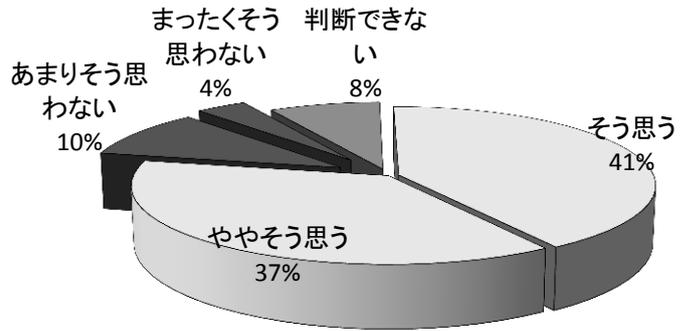
⑧ 学校(先生)は、整理整頓に心がけ、清掃を十分に行うよう指導しています。



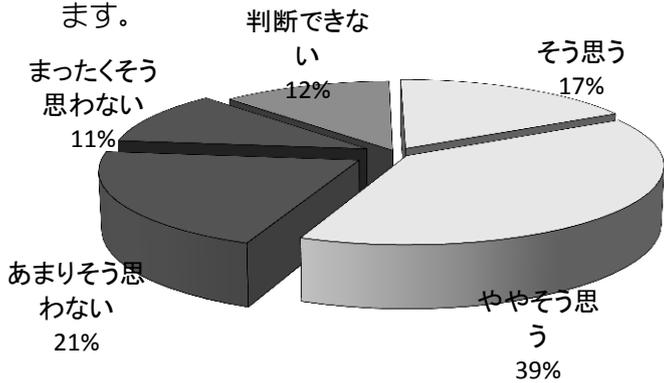
⑨ 学校(先生)は、外部からの侵入者などの不審者があつた場合対処しています。



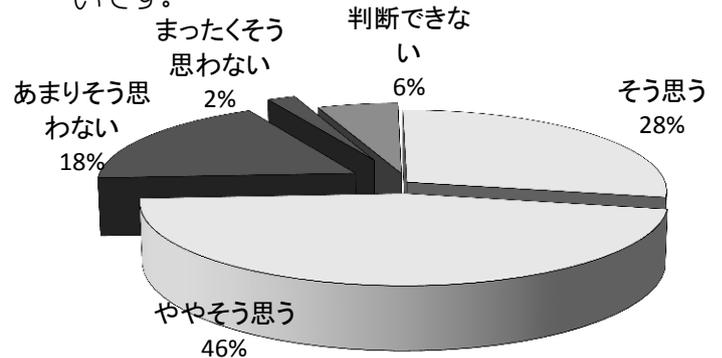
⑩ 学校(先生)は、学習面で、あなたのよいところを認めてくれるような評価をしてくれたり、現在のあなたの状況について教えてくれたりします。



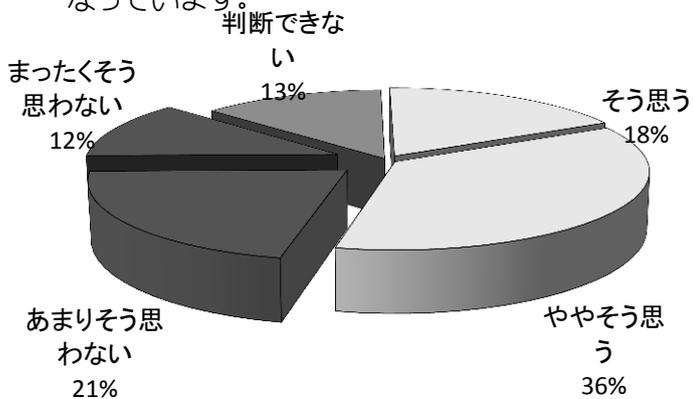
⑪ 先生は、心やからだの健康、バランスのとれた食事についてわかりやすく教え、気を配っています。



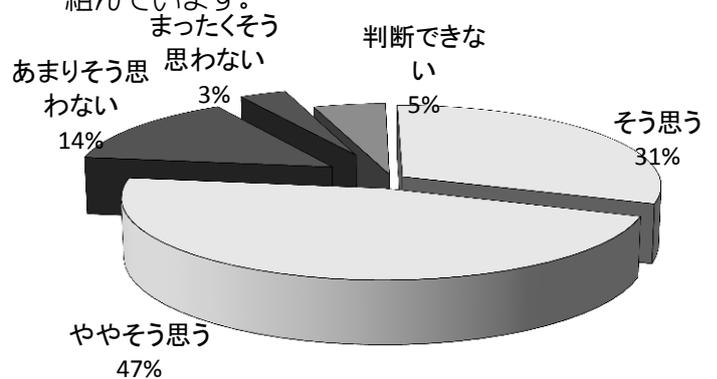
⑫ 学校(先生)の授業は、工夫され、わかりやすいです。



⑬ 道徳の授業は、心に残り考えさせる内容になっています。

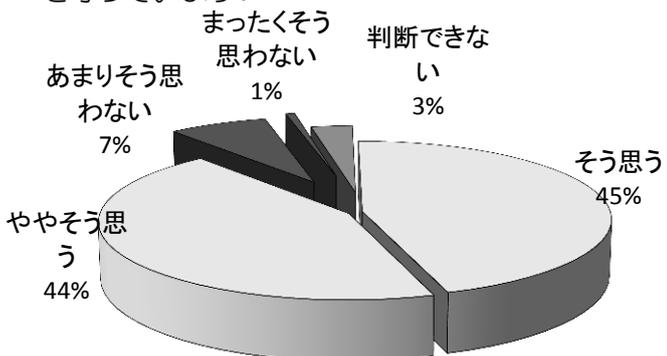


⑭ (自分は)学校の授業に興味関心を持って取り組んでいます。

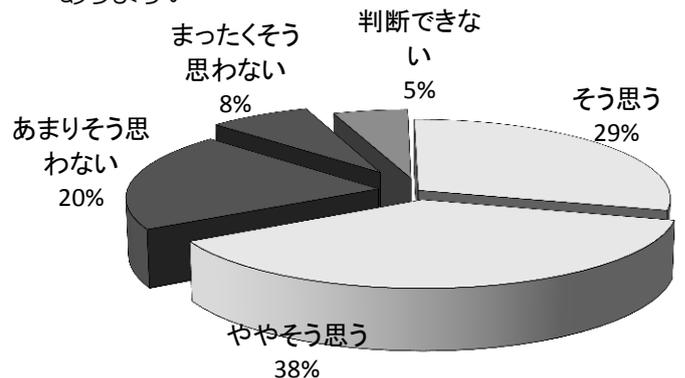


2:自分自身のことについて

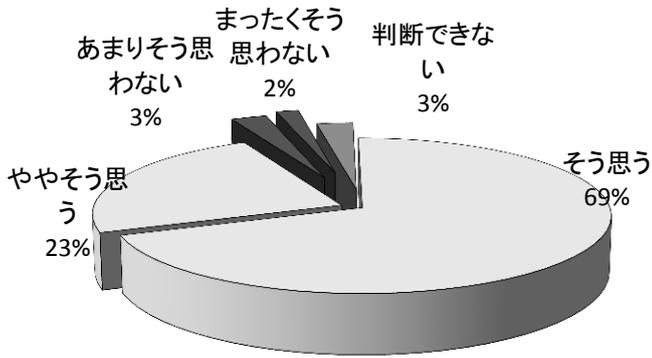
① あなたは学校で、あいさつをし、学校のきまりを守っています。



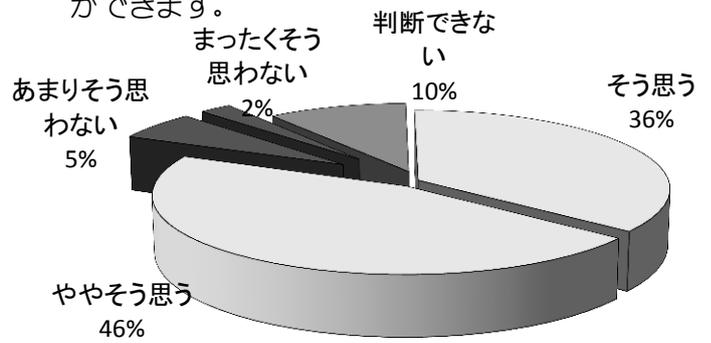
② あなたは、学校で将来の進路や生き方について、先生や友達と話し合ったり考えたりすることがあります。



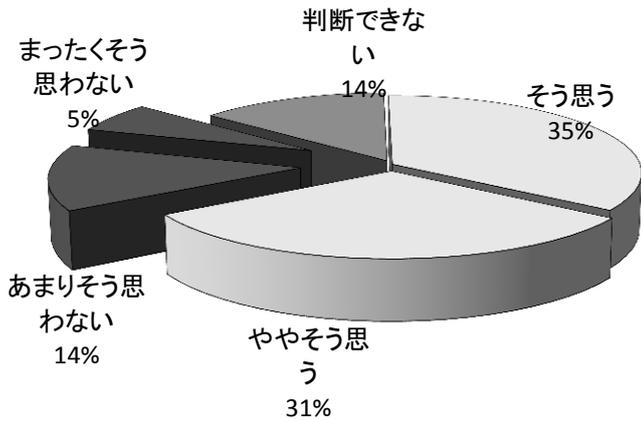
③ あなたは、運動会や文化発表会などで、楽しく活動することができました。



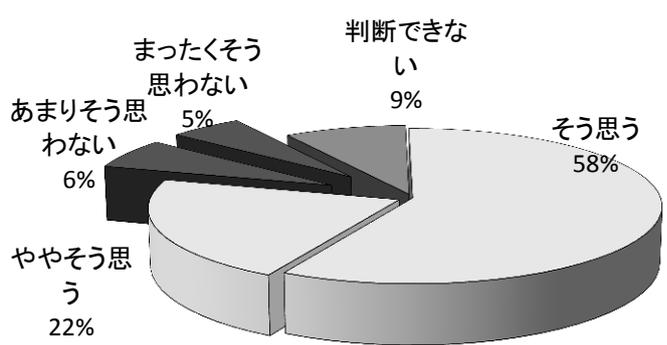
④ あなたは、いじめや仲間はずれなどすることがなく、相手の立場を考えお互いに協力することができます。



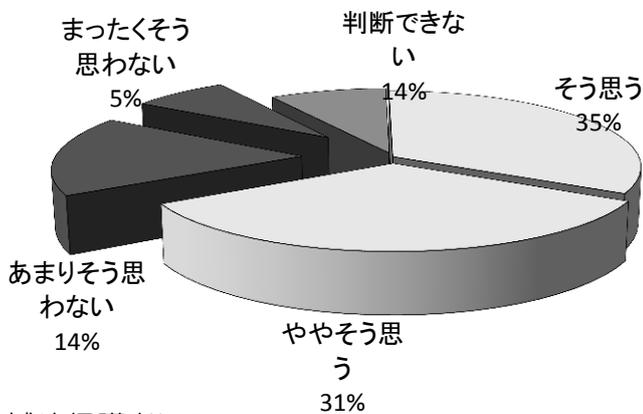
⑤ あなたは、学校生活であなたのことを認めてくれたり、話を聞いてくれる先生がいます。



⑥ あなたは、部活動を一生懸命に取り組んでいます。

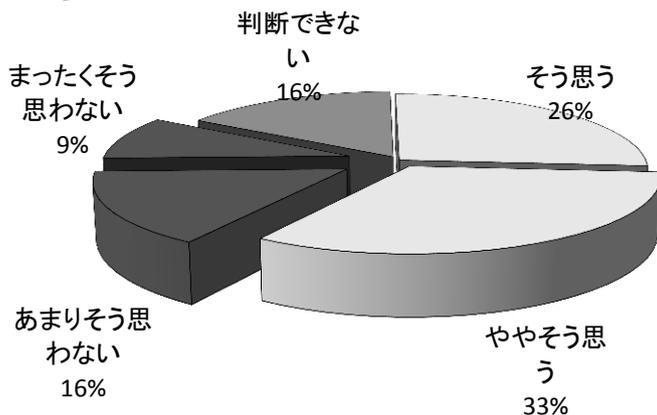


⑦ あなたは、学校生活において目指す目標があり、何かをやり遂げた達成感や充実感を得ています。

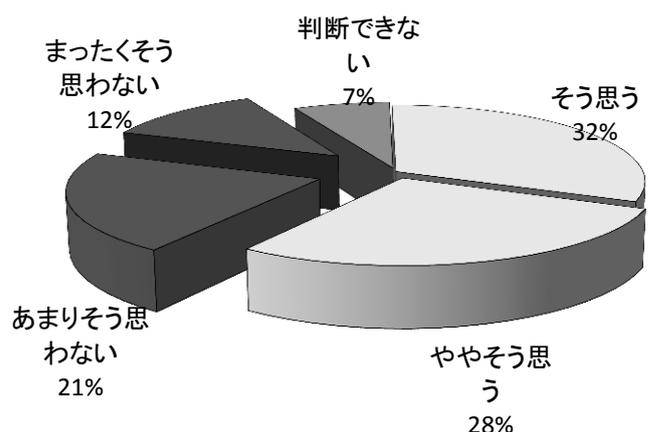


3:地域や保護者について

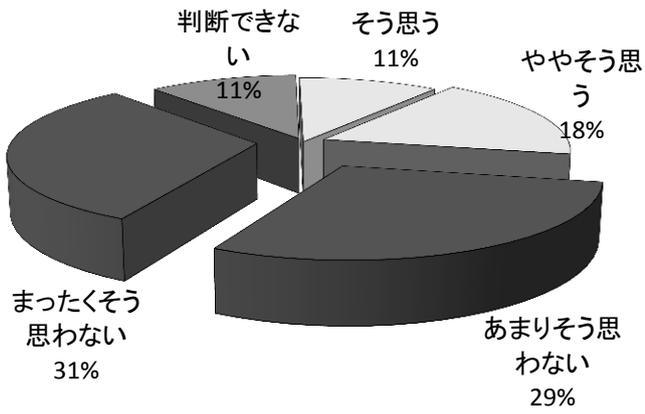
① あなた自身のことや学校生活について、保護者と先生は必要な時に相談したり話し合っています。



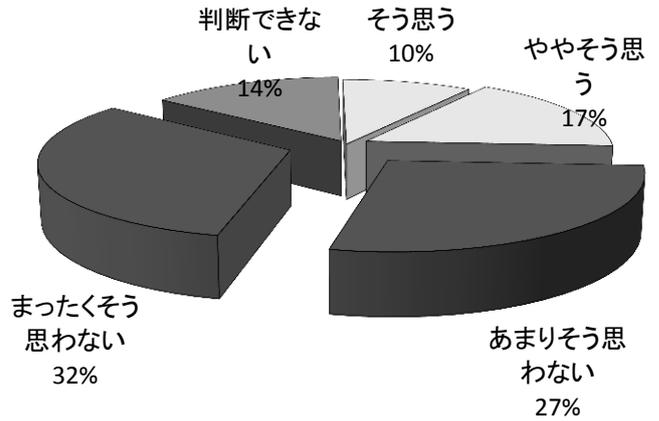
② あなたは、地域の人とあいさつしたり話したりする機会があります。



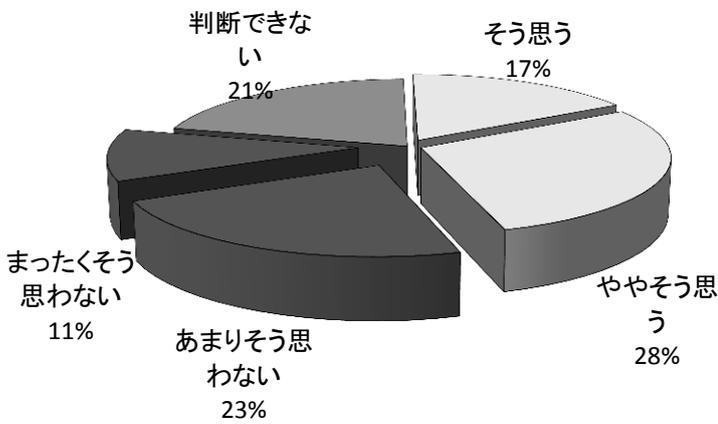
③ あなたは、清掃活動・お祭りなど地域におけるボランティア活動によく取り組んでいます。



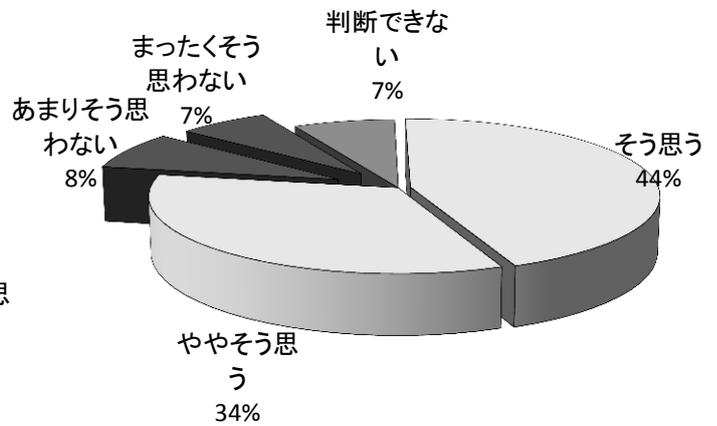
④ あなたは、地域の小学校の児童と一緒に活動したり教えたりすることがあります。



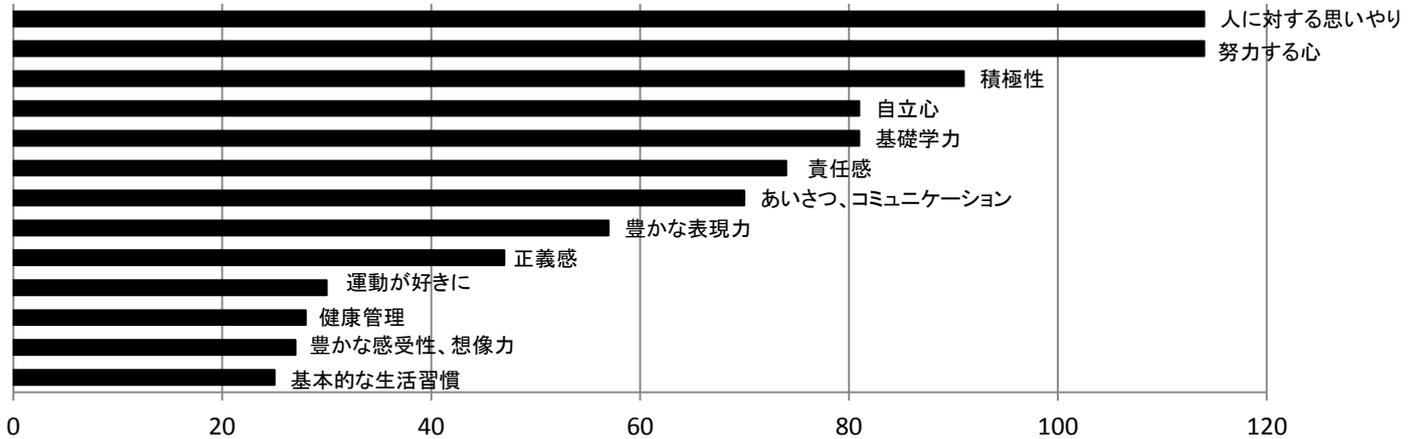
⑤ 授業参観や保護者会などに、多くの保護者や地域の人々が参加しています。



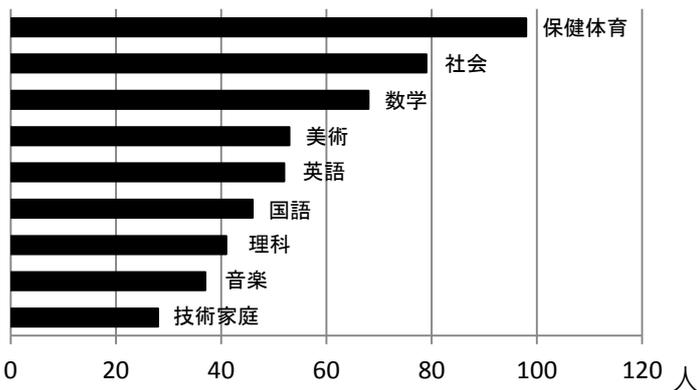
⑥ 自分の保護者は、自分のことをよく考え、困った時によく相談に乗ってくれます。



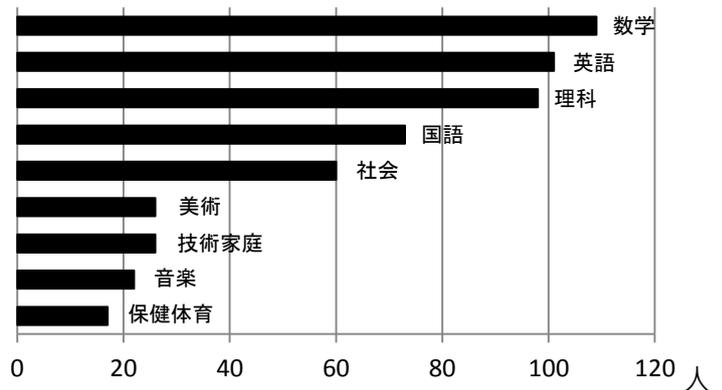
4:身に付けたい事柄



5:得意な教科



6:不得意な教科



平成24年度の学校評価を振り返り、平成25年度に向けて谷原中学校が目指すこと

昨年末に保護者の皆さんと全校生徒を対象に「学校評価のアンケート」を実施いたしました。この「学校評価」は、地域・保護者・生徒・教員とそれぞれ立場は違っても、同じ学校に関わる人々が現状について意見を出し合い、その結果は、次年度の方策を打ち立てる大事な資料となるものです。結果の集計表とそれに関する学校の考察と対応策を掲載しましたのでご覧ください。今後も本校へのご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

(1)概要

学校教育で身に付けたい（身に付けさせたい）事柄は、言い換えれば学校に求められる使命とも考えられます。今回の学校評価では、その目指すものが「生徒・保護者・教員」の三者で全く一致していました。しかし、現状に対しての認識には、この三者の間に違いがあることも否めませんでした。その認識（見方や感じ方）の違いがどこから生じているのか考え、その対応を打ち出し、25年度から実践して行かなくてはなりません。

①生活に関して

「身に付けたい（身に付けさせたい）事柄」に対して三者（生徒・保護者・教員）とも「人に対する思いやりがある人」が筆頭にあげられました。周囲の人へ優しい心を持つ人柄というものは、子どもに対する大人にとっての願いであるのは当然です。しかしそれが、生徒の意見でも筆頭に上がるということは、自分がそうでありたいと思うのと同時に、他者にもそうであって欲しいという願いの表れでもあると考えられます。つまり、現状は「いじめ」や一部の生徒の思いやりの無さ、相手の無神経さによって心が傷付けられた生徒の存在などがあることを示しているとも考えられます。その一例として顕著なのが「いじめや不登校への対応」についてです。教員はA B評価で全てを占めているのに対して、保護者で24%（約4人に1人）、生徒で約28%がC D評価をつけているという認識の違いがありました。この違いは、どうしてなのかと考える時に、「いじめや不登校」の問題は、個人情報や人権問題に関わるという側面があります。学校は、生徒のプライバシーを守らなくてはなりません。あからさまに表面化できない部分もあります。そのため関係されない生徒や保護者の皆さんには、どのような事（対応や指導）が行われているかが見えてきません。そのような点から実際の活動に対して認識が薄くなるということも考えられます。しかし、実際に「いじめ」の渦中にあった生徒や保護者の方からの「不十分である」という意見も含まれていることも当然考えられます。職員がこの事実を真摯に受け止め、生徒第一の考えのもとで、ご家庭とのつながりを持ちながら、次のような具体策を含めて健全育成に努めていきたいと考えております。

<対応策>

- ・表面化されない事の把握のために教育相談組織(生活指導部会・特別支援委員会等)の連携を確立させる。
- ・心豊かな道徳的意識を教育活動内で育む(道徳と各教科との関連性も持たせながら)。
- ・「ふれあい月間」等の強化週間を積極的に活用する。
- ・生徒、保護者、教員間のつながりを深められる毎日の生活を教員自身が心がける。

②学習に関して

前述した「身に付けたい事柄」で、生徒の意見として「基礎学力を確実に身に付けた人」が上位4項目の一つに入っていました。この傾向は、保護者や教員より高いものです。ここから受け取れることは、成績の良好な生徒も現状では学力に関して不安を持っている事実と、基礎学力もままならない生徒も内心ではかなりの焦燥感をもっているとも考えられます。そのような考えのもとで「授業がわかりやすい」という評価に対しての結果を見ると、生徒の22%（約5人に1人）がC D評価を付け、保護者でもほぼ同比率の19%がC D評価であるという事実の意味を教職員がしっかりと理解する必要があります。

一方でこのデータから次のようなことも考察されました。

「授業のわかりやすさ」を保護者の皆さんが判断する手だては、何でしょうか。学校公開など直接参観できる機会もありますが、最も信頼できる判断材料としては、お子さんの言葉であり現状ではないでしょうか。この生徒と保護者の比率がほぼ同数という結果は、家庭内で学校についての会話が成立しているということが示されているとも考えられました。

このように生徒の背景には、必ず保護者や地域の願いがあるということを忘れずに、教師自身の授業力向上に努めていかなければならないと改めて認識しました。

<対応策>

- ・「学力調査の結果」を活用し、生徒(理解の度合い)や指導者(指導の偏りの点検)を把握する。
- ・校内研修会等での研究授業を定期的に行い、教員間の授業力の向上を目指す。

*参考資料

「身に付けさせたい事柄」の支持順位の比較(生徒・保護者・教員)

事柄	生徒	保護者	教員
1 人に対する思いやりがある人（他の人の悩みや心の痛みが分かる人）	1	1	1
2 あいさつがきちんとできる人、他の人とのコミュニケーションを大切にしている人	7	2	2
3 自分のことは自分でできる自立心を持った人	4	4	8
4 正義感の強い人・ルールやマナーを守る人・正直な人	9	8	4
5 表現力（文章・会話・音楽・美術）の豊かな人	8	10	9
6 努力する人や苦しいことから逃げない人	1	3	3
7 感受性の豊かな人や想像力の豊かな人	12	11	
8 基礎学力を確実に身に付けた人	4	5	6
9 自分で健康管理ができる人	11	12	
10 責任感の強い人・約束を守る人	6	6	6
11 何事にも積極的に取り組む人	3	7	
12 基礎的な生活習慣を身に付けた人	13	9	4
13 運動が好きな人	10		